



ルックバック 永井先生からのメッセージ No.25

【友とのかかわりを
思い返すことで
豊かになるもの】

～元小学校の先生から保護者の皆さんへ～

2024年 9月13日 野毛山幼稚園

【『友情』～小学校1・2年のポイント～】

友達と仲よくし、助け合うこと。

※友達とけんかをして、友達の気持ちを考え、仲直りできるようにする。

- ▶ 小学校での学級編制(クラス替え)。昔は3回(1.3.5年)でしたが、今は毎年行われています。
- ※ 2年間同じクラス(集団の固定化)が、様々なトラブルの原因となり始めたことも、理由の一つ。

- ▶ 「〇〇ちゃんと違うクラスになっちゃったあ。また一緒のクラスになりたかったのに！」
そんな時期の子どもたち(2年～6年)に、毎年、問いかけていたことがありました。

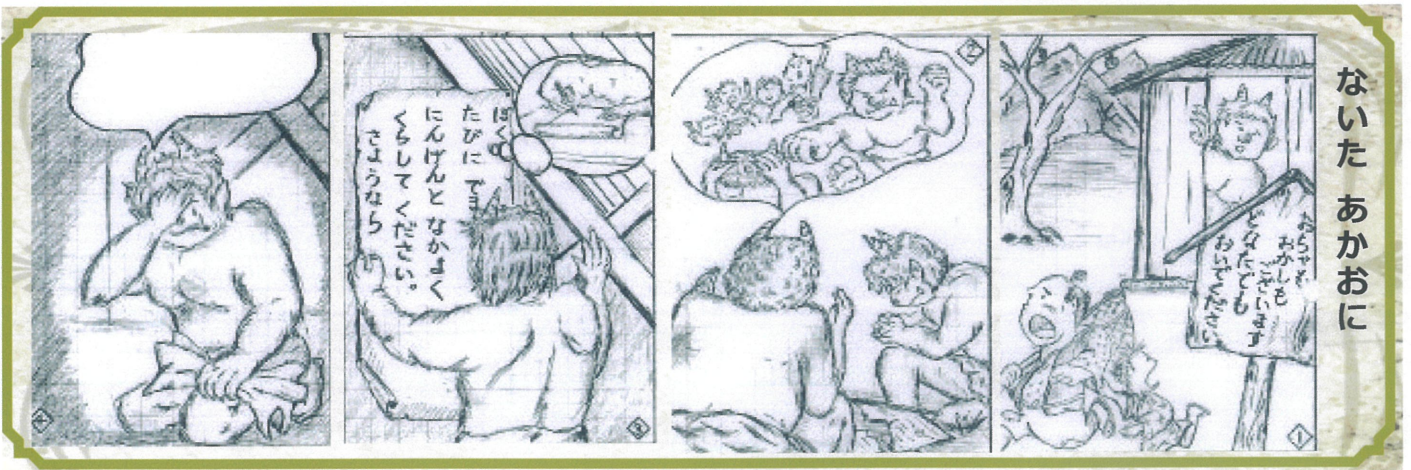
じっくり思い出してみましょう。私は、あの子に、きちんと『ごめんね』や『ありがとう』を伝えていない。

【言いそびれてしまった理由を聞いてみると】

- お互い様だし ○むこうが言ってきたら言おう
- 言わなくても分かってくれる ○照れくさかった
- いつか言えればいい ○先に言ったら自分の負け
- 言おうとした時に別のトラブルが発生し・・・等

- ▶ 「実はこんなことが・・・」と一人が語り始めると、「そういえば・・・」と語りが広がっていく。語りながら泣き始める、そんな子がいるクラスもありました。

- ▶ 『泣いた赤おに』。悪者役を演じた「青おに」。人気者になった「赤おに」。「青おに」は旅に出る。気づくのが遅れた「赤おに」は、『ごめんね』も『ありがとう』も伝えることができなくなってしまう。友達の気持ちを考えること。自分の思いを伝えること。その大切さを感じ取ることができる名作。



- ▶ **ルックバック**。過去をふり返る。思い返す。例えば、『ごめんね』を言いそびれた思い出からは、逆に「なんであんなことを言ってしまったんだろう」という後悔や反省も生まれてきます。このように **心の働きを豊かにすることは、直接、お勉強(点数や成績)につながるものではありません。**
- ▶ しかし、こうした体験を幼少期から重ねた子どもは、例えば、「オリンピックで敗れたり失敗したりした選手をネット上で攻撃するような人にはならない」「無責任な書き込みに同調したり、相手が傷つく言葉を平気で拡散させたり・・・そういう人には決してならない」。私はそう信じています。